



2025(令和7)年度 京都府公立高校入学者選抜について

公立高校・私立高校から、来年度の入学試験に関する要項や詳細が発表されましたので、主なポイントをお知らせします。

1. 募集定員について

- 東稜高校 普通 240人→200人 40人減
- 東宇治高校 普通 280人→240人 40人減 (前期選抜のみ乙訓から志願可)
- 菟道高校 普通 280人→240人 40人減
- 農芸高校 農業学科群 100人→85人 15人減 (全府から志願可)
- 海洋高校 海洋学科群 95人→85人 10人減 (全府から志願可)
- 宮津天橋高校 建築 30人→25人 5人減 (全府から志願可)

2. 主な変更点

- (1) 選抜方法の変更
京都すばる高校 起業創造科と企画科が商業学科群として一括募集
- (2) 報告書の出欠の記録欄の削除
- (3) 京都すばる高校情報科学科のB方式除外 (A方式のみ)

高等学校の情報を集め、進路先をしばっていきましょう 第2回進路希望調査の提出を受けて

第2回進路希望調査の提出、ありがとうございます。卒業後の進路先について、徐々に具体的になっているようです。例年通り、公立高校を第一希望にしている人が多いです。また私立高校を第一希望をしている人は、高校に進学してから自分がやりたいことが明確になっているようです。そして、まだ明確にしきれていない人は、さらに具体的にするために、学校説明会に参加して、自分の目と耳で確かめられることをお勧めします。また長岡第三中学校のホームページを開くと、以下のような内容を見ることができます。

(長岡第三中学校ホームページ→お知らせ→進路情報)

公立高校はもちろん、京都府内に所在する私立高校についても情報が得られます。3年生のみなさん、お家の方々はもちろんのこと、他府県御出身のお家の方は、是非御覧ください。

○京都府立高校スクールナビ

府立高校探しのためにとっても有効です。各高等学校の紹介を動画によって視聴することができます。

○京都市立高校最新情報サイト

公立高校には、京都府立と政令指定都市である京都市立高校があります。ここをクリックすると、京都市立高校の最新情報が掲載されています。

○京都府私立中学高校連合会ホームページ

ここでは、入試情報や、学校毎に最新の情報が得られます。

○京都府の修学支援制度

就学援助制度に関わる情報です。

私立高校進学の際に収入によって援助が受けられます。詳しい情報はここを御覧ください。

受験の機会について

京阪神の私立高校入学試験日と、滋賀県の私立高校の入学試験日が違います。このため、私立高校を滋賀県→京都府と連続2回受験することも可能です。さらに言えば、京阪神の私立高校では2月10日と2月12日など日程をずらして2回入学試験を実施する高校もあるので、連続3校の受験もできなくはありません。前期選抜も考えると連続4校受験が可能です。さらに奈良県の私立入試も受験可能ですので、最大5校受験が物理的には可能です。

とは言うものの、受験するためには、「準備」が必要です。少なくとも受験校の過去数年間の入試問題には取り組みたいし、その高校の出題傾向を分析して対策(学習)をしておきたいものです。

さらに受験をすると緊張と集中でクタクタになります。

だから日程上は何校も私立高校の受験が可能に見えるようですが、実際にやってみると、とてつもなく苦しいことになります。もし京都の私立高校や前期選抜が第1希望なのであれば、ターゲットを絞り込んだ準備が十分でなく、体と心がクタクタになった状態で本命の受験日を迎えることも考えられます。それで実力を発揮できるでしょうか？

また、受験には合否が出ます。合格を勝ち取れば気持ちよく次の受験に向かえますが、もし不合格になれば精神的なダメージを受けることもあります。

なお、滋賀県→奈良県→京都府と3校連続受験をする場合でも、**専願受験できるのは1校だけです。受験日が違っても、「同時に2校以上を専願で出願出来ない」が専願の条件です。**

ただし、公立高校の**前期選抜**に限り、「第1希望校に合格した場合は、前期選抜の出願を辞退する。」という確認と、あらかじめ辞退に必要な「辞退届」を提出していただく事を条件として、出願手続きを行います。(詳しいことは前期選抜の説明で行います。)

(私立高校の受験料は、現在2万円(+手数料)が最も多いです。4校受験すれば、8万円以上の費用が必要です。)

詳しくは、今後の進路通信や進路説明会でお話させていただきますので、よろしく願い致します。